

発言No. 6

受付No. 15

令和5年6月7日

10時34分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 9 番 氏名 柳 楽 真 智 子

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 熱中症対策について

(1) 生命を守るための取組推進について

- ① 熱中症は、適切な予防や対処が実施されれば、死亡や重症化を防ぐことができます。熱中症は人命にも関わる事から、熱中症対応マニュアル等の作成やWBGT(暑さ指数)の認知度向上や、市民の熱中症対策の行動に繋がる情報発信も必要かと考えますが、ご所見を伺います。
- ② 消防庁の調査によると、熱中症による救急搬送者の約5割が高齢者となっています。熱中症による救急搬送者数の推移を、年代別に伺います。
- ③ 熱中症を予防するためには、脱水と体温の上昇を抑えることが基本であると言われていますが、高齢者の中には、暑さや喉の渇きに対して敏感ではなくなっているケースもあります。熱中症で亡くなる方の多くを占めている、熱中症弱者と呼ばれる高齢者に、熱中症予防のための行動を意識して頂くことも重要です。現在どのような対策が行われているのか伺います。
- ④ 高齢者の熱中症を予防して行くためには、介護や地域の関係者と連携することも必要と考えます。高齢者の皆様への効果的な熱中症予防を進めるために、どのような連携が図られているか伺います。
- ⑤ 猛暑日などいざという時に、エアコンを入れても動かないとか、エアコンのフィルターが汚れていて部屋が冷えないとか、エアコンのトラブルが、命に及ぶ危険性もあります。熱中症による救急搬送者における発生場所の7割が屋内となっています。エアコン

の整備や点検の推進に向け、積極的な勧奨も必要かと思いますが、ご所見を伺います。

- ⑥ 電気料金が高騰する中で、節約の意識も高まり、エアコンの利用を控えたりする方も少なくないと思います。熱中症特別警戒情報が発令された時などに、リスクの高い高齢者が躊躇なくエアコンの使用ができる環境の整備も必要かと思いますが、電気代の高騰への対応も含めて、高齢者や低所得者等に対して、適切な支援が必要と考えますがご所見を伺います。
- ⑦ 学校における、子どもの熱中症を防ぐための取り組みも、大変に重要であります。小・中学校の普通教室における空調設備の整備が進められていると思いますが、普通教室への空調設置の進捗状況と、空調設備を活用するための電気代の手当は十分なのか伺います。また、保育施設に対する支援の考えを伺います。
- ⑧ 子どもたちの通学時の熱中症予防対策も必要と考えますが、どのような取り組みがなされているのか、また、熱中症警戒情報が発令された場合、どのように対応して行くのか伺います。

2. 浜田市総合防災訓練について

(1) 意識の醸成について

- ① 訓練が形骸化しているとの市民の声があったようですが、市としての見解を伺います。
- ② 避難先に市の職員がおらず、運営が住民任せになり、市の本気度が見えないとの声や、開始時間の案内と実際の開始が違っていたことについての不満など、このような声が上がること自体が問題だと感じています。お詫びのメールも出されましたが、市民の皆様に対する訓練目的の伝達に問題がなかったのか伺います。
- ③ 次年度の実施について、市としての方針をもっと早くに地域に示し、地域住民に訓練計画をしっかりと立てていただくことが必要だと考えますが、ご所見を伺います。

3. アドバンス・ケア・プランニングの取組について

- ① 浜田市高齢者福祉計画の中で、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）についての記載がありますが、現在、どのような取組が行われているのか伺います。

4. 不登校支援について

- ① 地域井戸端会においても、不登校の子どもや保護者に対する支援についての意見がありました。相談場所が分からないとの意見があることから、現在の相談体制について改めて伺います。

- ② 地域住民との協力・連携も必要と考えますが、現在そのような取組が行われているのか伺います。